令和6年度 中核機能強化加算の算定に当たる「地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取り組みの実施状況について

社会福祉法人 あづみの森 尾道発達相談・療育支援センター あづみ園
(児童発達支援事業・放課後等デイサービス)

<p>市町村及び地域の関係機関との連携体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会(児童部会)へ参加 事業所紹介 「幼児期の支援・事業所の役割を考える」受講
<p>幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウン症、自閉スペクトラム症、知的障害、精神発達遅滞等、医師の診断のもと、毎日通園(単独:3~5歳児)により療育を実施(月曜日から金曜日、第1、3土曜日)。 ・実務経験10年以上の言語聴覚士、公認心理師と共に、保育士、児童指導員を配置し、個別支援計画に基づく療育、支援プログラムや年間療育活動計画に沿った利用児の課題別クラスによる療育の実施。 ・専門職(言語・心理)による個別指導後の個別相談(各5回/年)。 ・歯科医による、咀嚼、嚥下等の食事指導。 ・作業療法士による子どものアセスメント、感覚統合の視点からの指導、遊びの提案。保護者からの相談に対するアドバイス。 ・就学に関する学習会:年長児と年中、年少児別に実施。 ・居宅訪問(家庭訪問):全園児対象。 ・就学相談:必要に応じて 個別相談。 ・親子活動、クラス懇談(1回/月)、保護者学習会:日々の取り組みや活動への参加を通して、障害特性の理解や困り感の軽減を図るための相談援助。 ・交通安全教室、総合避難訓練。 ・年間研修計画を作成しての施設内・施設外研修への参加。
<p>地域の障害児通所支援事業所との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援フォーラムの開催。 ・外部事業所にて、言語の個別指導や検査の実施。
<p>地域のインクルージョン推進の中核機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援事業の実施。 ・保育所、幼稚園、認定こども園、学校に訪問し、相談援助(支援方法や構造化など助言や指導)。 ・入園、入学前に見学の同行や入園、入学後、併行先、就学先との連携。
<p>地域の発達支援に関する窓口としての相談機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市から発達相談の委託を受け、言語聴覚士、公認心理師の資格を保持する職員を派遣。 ・療育についての相談や見学の受け入れ。 ・令和6年度事業所評価会議に第三者委員の参加。助言を参考にして結果を公表。 ・ペアレントメンター事業へメンターとして職員を派遣。 ・卒園児保護者を招き、学習会を実施。
<p>地域の障害児支援体制の状況及び基本要件に関する取組状況の公表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児(保護者)による事業所評価を実施。また第三者委員の助言を参考にして結果を公表。